



87

しなやかな明日へ

第87回 2018(平成30)年度

# 全国盲学校弁論大会 全国大会

プログラム

●日時：2018(平成30)年10月5日(金) 午前9時30分～午後1時30分

●会場：コラッセふくしま 多目的ホール

福島市三河南町1-20 電話 024-525-4089

◆JR福島駅西口 徒歩3分

主催／全国盲学校長会  
毎日新聞社点字毎日  
毎日新聞東京・大阪・西部社会事業団

主管校／福島県立視覚支援学校

後援／文部科学省  
福島県教育委員会  
福島市教育委員会  
福島県特別支援学校長会  
**NHK**  
日本点字図書館  
日本ヘレンケラー財団  
日本ライトハウス  
全国盲学校PTA連合会

(順不同)

協賛／一般財団法人 安全交通試験研究センター  
日本点字図書館用具事業課  
日本ライトハウス

(順不同)

特別協賛／住友グループ広報委員会 公文教育研究会

# 第87回全国盲学校弁論大会全国大会

## 開 会 式

9:30

### 開 会

### あ い さ つ

全国盲学校長会会長(東京都立八王子盲学校校長)  
毎日新聞社点字毎日編集長  
福島県立視覚支援学校校長

國松 利津子  
遠藤 哲也  
須田 康仁

### 来 賓 祝 辞

文部科学省初等中等教育局初等中等教育視学官  
福島県教育庁理事兼教育次長  
住友グループ広報委員会事務局長  
(住友商事株式会社 執行役員 広報部長)

青木 隆一  
大沼 博文  
新森 健之

### 来 賓 及 び 審 査 員 紹 介

### 弁 論 規 定

## 弁 論

全国7地区代表9弁士  
(開催地の東北地区と関東・甲信越地区は代表2人)

## アトラクション

長谷川ファミリー

## 閉 会 式

### 講評と成績発表

審査員長

愼 英弘

### 特別講評

詩人

和合 亮一

### 表 彰 式

優 勝 文部科学大臣優勝旗 点字毎日杯 点字毎日盾  
毎日新聞社会事業団杯 日本点字図書館杯 住友グループ杯

準優勝 点字毎日盾 日本ヘレンケラー財団杯

第3位 点字毎日盾

特別賞 日本ライトハウス盾

優秀賞 全国盲学校長会会長賞 住友グループ個人賞

記念品 公文教育研究会

### 閉 会

13:30



# 弁論

- 主管校優秀賞受賞弁論 「羽ばたく」  
福島県立視覚支援学校 高等部普通科3年 遠藤 未来 (17)
1. 東北地区代表 「ありのままの私で生きていく」  
秋田県立視覚支援学校 高等部専攻科保健理療科2年 和賀 美咲 (26)
2. 中部地区代表 「一緒にがんばろうね」  
岐阜県立岐阜盲学校 高等部専攻科理療科3年 大澤 幸子 (58)
3. 北海道地区代表 「時代」  
北海道札幌視覚支援学校 高等部普通科1年 舩澤 瑠花 (16)
4. 近畿地区代表 「視覚障がい者だから」  
大阪府立大阪南視覚支援学校 高等部専攻科柔道整復科1年 阿部 亮介 (22)
5. 九州地区代表 「未来に向かって」  
鹿児島県立鹿児島盲学校 高等部本科保健理療科3年 南谷 良弘 (43)
6. 中国・四国地区代表 「とらえ方次第で世界は変わる」  
徳島県立徳島視覚支援学校 中学部2年 川本 一輝 (14)
7. 東北地区代表 「あの日から変わった私の生きる道」  
福島県立視覚支援学校 高等部専攻科理療科3年 佐藤 秀州 (40)
8. 関東・甲信越地区代表 「『自信をもつ』ということ」  
新潟県立新潟盲学校 高等部普通科1年 斉藤 未帆 (15)
9. 関東・甲信越地区代表 「井の中の蛙大海を知らず」  
埼玉県立特別支援学校塙保己一学園 高等部普通科1年 秋元 美宙 (15)

## 審査員 (敬称略、順不同)

四天王寺大学名誉教授 (審査員長)

愼 英弘

福島県教育庁理事兼教育次長

大沼 博文

NHK制作局 文化・福祉番組部長

増田 秀樹

毎日新聞大阪本社 編集局長

砂間 裕之

住友グループ広報委員会

岩津 正樹

～三井住友信託銀行株式会社

広報室 主任調査役～

詩人 (特別審査員)

和合 亮一

## 祝 第87回全国盲学校弁論大会

小銭がわけられる「ユニバーサル財布」のご紹介

二つ折り財布ほどの大きさで、周囲のファスナーを開けると6つのまちの広い小部屋に分かれています。小銭をわけて収納できるほか、半分に折ったお札を収納することもできます。スナップボタンのついたポケットをはじめ、合計6つのポケットがありますので、収納に優れており、革が柔らかいのでポケットからの出し入れがしやすいつくりです。色はブラック、ブラウンの他、濃いピンクや可愛い淡い黄色と水色があり、秋色のオリーブとネイビーもデラックスバージョンで用意しています。プレゼントにも最適です。価格 5,800円 (税込)

日本点字図書館用具事業課 電話 03-3209-0751





## 特別審査員

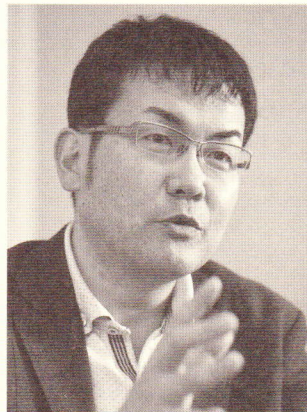
### 詩人 和合亮一

1968年、福島市生まれ。詩人。国語教師。福島大学卒。

第4回中原中也賞、第47回晩翠賞、みんゆう県民大賞、NHK東北放送文化賞、福島県文学賞などを受賞。

2011年、東日本大震災直後の福島からTwitterで連作詩『詩の礫』を発表し、同年5月、オランダのコンサートヘボウに招致され、朗読にて福島のことを発信するなど国内外の注目を集めた。昨夏にはフランスにて日本人初の詩集賞受賞。

福島県教育復興大使。福島大学応援大使。毎日新聞文化欄にてコラム「詩の橋を渡って」を連載している。



## アトラクション

### 「長谷川ファミリー」

長谷川朝子・千鶴・弘樹の親子三人とその仲間たちで結成する福島県を代表する音楽家。26年度みんゆう県民大賞芸術文化賞受賞。全国の学校を回る演奏会は昨年秋1000回を迎えた。平成30年3月、それを記念するコンサートが福島テルサを会場として満員の観客を迎えて行われ、大成功をおさめた。



#### ○ 歌・ハープ 長谷川 朝子

武蔵野音楽大学卒。全国童謡歌唱コンクール銅賞受賞。大学講師やラジオ福島のパーソナリティーを経て現在、全国の学校を回るコンサート活動が続ける一方、放送局の番組審議委員や音楽コンクールの審査員等を務める。4枚のCDアルバム制作、著書に「うたのふるさとを訪ねて」がある。

#### ○ バイオリン 中村 千鶴

1994年、バッハホール音楽コンクール第2位。2000年、クラシック音楽コンクール全国大会入賞。2006年、アジアユースオーケストラ参加（2010年高松宮殿下記念文化賞若手芸術家奨励制度受賞）。東京藝術大学大学院卒業。東京藝術大学助手を経て、現在、東京学芸大学、東京音楽大学各非常勤講師。他東京交響楽団等で客員奏者を務める。

#### ○ チェロ 長谷川 弘樹

2001年、バッハホール音楽コンクールチェロ部門バッハホール音楽賞、併せて宮城県知事賞。2010年、桐朋学園大学卒業、同大学研究科修了と同時にスイス留学。2011年、兵庫芸術文化センター管弦楽団入団。2014年、同楽団退団。国内のオーケストラで客演首席、副主席奏者として活躍する。

#### ○ ピアノ 菅野 真紀子

## 皆さんのご健闘を祈ります。



ヘレン・ケラー女史と  
岩橋武夫（1937）

「青い鳥の少女」「三重苦の聖女」と呼ばれて人々から敬愛されているヘレン・ケラーさんは、わが国の障害者福祉を語る上で忘れてはならない大恩人です。日本ライトハウス創立者岩橋武夫は女史の2回の来日の橋渡しをしました。今年、そのヘレン・ケラーさんのお亡くなりになって50年になり、その足跡を偲ぶ会を11月23日、24日に大阪市中央公会堂で開催します。

皆様のご来場をお待ちしています。詳細はホームページをご参照下さい。

社会福祉法人日本ライトハウス  
理事長 橋本 照夫

視覚障害リハビリテーションセンター  
盲導犬訓練所  
情報文化センター（東・西事業所）

法人本部：大阪市鶴見区今津中2-4-37 〒538-0042  
TEL (06) 6961-5521 FAX (06) 6968-2059  
E-mail info@lighthouse.or.jp  
URL <http://www.lighthouse.or.jp/>

# 祝 全国盲学校弁論大会



点字ブロックは岡山生まれです。  
(昭和40年当財団考案)



——— 視覚障害者用福祉資材のパイオニア ———



一般財団法人  
**安全交通試験研究センター**  
TRAFFIC SAFETY RESEARCH CENTER, INC. 普及事業部  
〒700-0024 岡山市北区駅元町15番1号(リットンシティビル7F)  
TEL.086-252-1212(代表)  
FAX.086-252-1213  
<http://www.tsrc.or.jp/>



全国盲学校弁論大会優勝校・優勝者一覧 第1回～43回

第1回(S3年)	大分県立盲啞学校	二宮 義雄	特殊教育の充実と盲人の使命
第2回(4年)	大阪市立盲学校	森田 正一	順風をはらんで神に祈る
第3回(5年)	山口県立下関盲啞学校	渡辺 雅美	開拓者の精神
第4回(6年)	和歌山県立盲啞学校	山根木正嗣	吾人の誓い
第5回(7年)	東京盲人技術学校	熊谷 善一	光は闇の中に輝く
第6回(8年)	大阪府立盲学校	田村 次郎	うんとやりましょう諸共に
第7回(9年)	熊本県立盲学校	中島 之典	私の信念
第8回(10年)	京都府立盲学校	西崎 清	あきらめの彼方へ
第9回(11年)	和歌山県立盲啞学校	松本 富穂	退いて無名の英雄たれ
第10回(12年)	大阪府立盲学校	丹下 薫	二つの信条
第11回(13年)	新潟県立新潟盲学校	奥住 勇	種を蒔く人
第12回(14年)	東京同愛盲学校	樋口 鶴男	二つの潮流
第13回(15年)	広島県立盲学校	吉沢 茂	世界一の果報者
第14回(16年)	和歌山県立盲啞学校	成田 周三	真実の世界を求めて
第15回(17年)	兵庫県立盲学校	粟井 禮次	武器なき闘い
第16回(18年)	岡山県立盲啞学校	山田 典子	日本の腰を強めましょう
第17回(22年)	奈良県立盲啞学校	西田 和恵	盲女性の要望
第18回(23年)	静岡県立静岡盲学校	井村淳一郎	母性愛にこたえて
第19回(24年)	石川県立盲学校	宮沢 秀明	新しい母
第20回(25年)	愛知県立名古屋盲学校	花井 久子	愛の盲女子ホーム建設
第21回(26年)	京都府立盲学校	白島 庸	点字書籍を増やすには
第22回(27年)	大阪府立盲学校	近藤 敏郎	ブライユにこたえて
第23回(28年)	大阪府立盲学校	津野 幸治	偽るなかれ
第24回(29年)	広島県立盲学校	藤正 坂二	平和のともしび
第25回(30年)	大分県立盲学校	中村 茂	存在への勇氣
第26回(31年)	石川県立盲学校	宮村 健二	友情箱
第27回(32年)	大阪府立盲学校	小坂 吉明	小さな革命
第28回(33年)	兵庫県立盲学校	竹本 春子	イソップ物語に学ぶ
第29回(35年)	新潟県立高田盲学校	太刀川 武	平凡なる非凡
第30回(36年)	岡山県立岡山盲学校	佐川 澄子	青い小鳥を自己の手で
第31回(37年)	新潟県立高田盲学校	古川 正雄	信和寮と私
第32回(38年)	新潟県立高田盲学校	信保 明子	小さな勇氣
第33回(39年)	愛知県立豊橋盲学校	水谷 嘉子	友情に生きたい
第34回(40年)	大阪府立盲学校	岩井 和彦	理解されない盲人
第35回(41年)	徳島県立徳島盲学校	松尾 素子	再び歩み始める
第36回(42年)	新潟県立高田盲学校	野沢 信子	盲学校という名に耐えて
第37回(43年)	大阪市立盲学校	亀甲 孝一	点字制定記念日に思う
第38回(44年)	和歌山県立和歌山盲学校	森本 和秀	可能性への挑戦
第39回(45年)	大阪府立盲学校	戸田 繁	奉仕と感謝
第40回(46年)	高知県立盲学校	小松 俊子	ある感動
第41回(47年)	大阪市立盲学校	渡辺 昭一	教育と職業の保障を
第42回(48年)	香川県立盲学校	川田 隆一	希望に燃えて
第43回(49年)	静岡県立浜松盲学校	田中そのめ	夢からの第一歩



全国盲学校弁論大会優勝校・優勝者一覧 第44回～86回

第44回( 50年)	岩手県立盲学校	佐々木 実	人間復活
第45回( 51年)	鹿児島県立鹿児島盲学校	脇園 寿子	前を向いて生きよう
第46回( 52年)	大阪市立盲学校	裕 久修	科学技術時代に思う
第47回( 53年)	山口県立盲学校	柁井さつき	ペルーから日本へ
第48回( 54年)	熊本県立盲学校	山崎 浩三	病気との闘い
第49回( 55年)	大阪府立盲学校	田中 康弘	甘えを捨てて
第50回( 56年)	愛媛県立松山盲学校	豊田 初江	杖
第51回( 57年)	大阪府立盲学校	尾鼻 達朗	あと一步
第52回( 58年)	福岡県立福岡盲学校	田端 里美	私の見つけた青い鳥
第53回( 59年)	静岡県立浜松盲学校	藤田 寿美	出会いということ
第54回( 60年)	三重県立盲学校	平井 正信	今、新しい人生が
第55回( 61年)	兵庫県立盲学校	蒲生 明美	はばたく私の青春
第56回( 62年)	大阪府立盲学校	小林 一尚	心
第57回( 63年)	大阪市立盲学校	山本 真弓	あなたのバーを今少し高く
第58回( H元年)	青森県立盲学校	沢田 彰郎	小さな社会から
第59回( 2年)	北海道高等盲学校	渡部 菜子	心から心へ
第60回( 3年)	熊本県立盲学校	嶽野 寛子	「看護婦さん」っていいなあ
第61回( 4年)	宮城県立盲学校	浅野目 誠	かけがえのない自分を見つめて
第62回( 5年)	筑波大学附属盲学校	南沢 創	釣堀とともに
第63回( 6年)	福岡県立柳河盲学校	藪内智佳子	日の光 色に見ずとも
第64回( 7年)	福井県立盲学校	前田 智洋	未知の世界への挑戦
第65回( 8年)	東京都立八王子盲学校	北 葉子	私が大好き
第66回( 9年)	福岡県立柳河盲学校	原田 淳一	川に流したもの
第67回( 10年)	北海道高等盲学校	花尻真由美	ボランティア
第68回( 11年)	福岡県立福岡盲学校	井上美由紀	母の涙
第69回( 12年)	富山県立盲学校	島崎 真美	コーラス
第70回( 13年)	神戸市立盲学校	荒木 温子	ずっと一緒だよ
第71回( 14年)	福岡県立福岡高等盲学校	清水 蔵隆	心のハンディキャップ
第72回( 15年)	神戸市立盲学校	荒木 温子	私の表情
第73回( 16年)	静岡県立静岡盲学校	守屋 剛	黒電話
第74回( 17年)	北海道札幌盲学校	柴田 裕里	犬の耳が欲しい
第75回( 18年)	岡山県立岡山盲学校	竹本登久子	悔いのない今日を生きる
第76回( 19年)	大阪市立盲学校	三ツ井直樹	働く喜び 実らせて
第77回( 20年)	福島県立盲学校	鈴木 祐花	踏み出す
第78回( 21年)	筑波大学附属視覚特別支援学校	ファン・パン・ソン	僕に続く後輩たちのために
第79回( 22年)	奈良県立盲学校	川添 愛	空へ
第80回( 23年)	和歌山県立和歌山盲学校	中 麻	世界にひとつの宝物
第81回( 24年)	愛媛県立松山盲学校	富永 広幸	私と家族
第82回( 25年)	茨城県立盲学校	山口 凌河	笑顔
第83回( 26年)	福岡県立福岡高等視覚特別支援学校	柿野 明里	守りたい
第84回( 27年)	福島県立盲学校	渡邊 健	光り輝くあの月へ
第85回( 28年)	福井県立盲学校	松田えりか	私は回遊魚
第86回( 29年)	静岡県立浜松視覚特別支援学校	望月 達哉	Ame(あめ)